

と畜場での豚コレラ交差汚染防止対策強化について！

豚コレラは豚・イノシシの伝染病で、感染源（感染畜とそのわずかな鼻汁や排泄物（タイヤの溝や衣類の付着物）等）との直接・間接接触により感染し、農場に侵入すると瞬く間に拡がります。関係者は、と畜場等の畜産関連施設で定められたルールをしっかりと守り豚コレラまん延防止を徹底してください。

★豚コレラ疫学調査では発生拡大防止のため、と畜場等の畜産関係施設での交差（2次）汚染防止対策強化が必要と示されました。

（1）農場側のと畜場の出荷ルールを決めておきましょう！

- 出荷用トラックは専用化・洗浄消毒徹底・衛生管理区域外保管等、衛生管理区域境界に豚出荷台新設等を検討（農場への持込防止を徹底）
- 出荷時の豚水洗、健康チェックと車両消毒（農場→と畜場への汚染を防ぐ）
- と畜場内の専用長靴や衣服等を準備（使用後は汚染物扱い、ポリ袋やケース等に収納し車内2次汚染を防ぐ。）
- 運転席消毒用の噴霧器等を準備し消毒（乗降時の車内2次汚染防止）

～運転席が2次汚染されないよう注意！～

（2）と畜場の豚荷受けルールを確認しましょう！

- 荷受け時間のスケジュール
- 車両消毒や踏込消毒設置場所
- 入退場時の車両の動きや他農場トラックとのタイヤの交差・消毒方法
- 場内での出荷者の降車位置及び作業区域
- 各作業区域での作業内容及び消毒方法、と畜場と出荷者との役割分担

荷台・タイヤの溝も徹底的に洗浄・消毒



使用後は毎回洗濯 靴は頻りに消毒



（3）と畜場の出荷ルールを相談して決定し遵守しましょう！

【交差汚染防止対策(例)】 荷受け日時調整、出荷者の降車によると畜場内作業頻度↓、タイヤの交差頻度↓、消毒頻度↑等

【出荷作業の手順(例)】 ①入場時の消毒→②豚荷下し→③荷台オガコ掃除→④トラック洗浄消毒→⑤運転席消毒→⑥退場時の消毒

（4）その他

- 帰路で入浴・着替えを行い、帰ってからは豚舎内作業に従事しない。
- 出荷道中で他の畜産関係施設に立ち寄る場合は交差汚染の可能性を確認・対策

豚に異常を認めた場合は直ちに通報し出荷を自粛して下さい。

京都府南丹家畜保健衛生所 TEL: 0771-42-3308(夜間・休日も転送機能あり)